

きょうとだいがくりがくぶふぞくちきゅうねつがく  
京都大学理学部附属地球熱学  
けんきゅうしせつ  
研究施設

野口原 京都大学

国登録有形文化財（建造物）

平成9年6月12日登録

第4代別府町長に就任した武田綾太郎氏は、温泉都市の充実を図るため、研究機関の誘致を積極的に大学や県に働きかけた。

それが功を奏し大正13年（1924）1月

26日、工事費20万円をかけて近代的な赤煉瓦の「京都帝国大学理学部附属物理学研究所」が開設された。

設計は辰野金吾博士並びに京都大学営繕課長永瀬狂三氏の手になるもので、南面する赤煉瓦造り2階建ての建物は中央に塔屋を配置し、正面玄関を中心に左右対称に振り分けられている。

さらに外壁は大小の柱型を交互に配して、その間に上げ下げ窓をとり、上下を白い帯で締めて気品のある均整のとれた外観を呈している。

施工業者 不詳



（外山 健一）